

サステイナブル活動部門

持続可能な生活排水対策

『長野県「水循環・資源循環のみち 2010」構想』

長野県

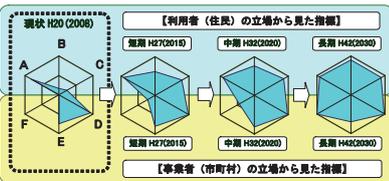
長野県全体の目標

長野県全体の目指す方向性として6つの指標を設定しました。
この指標は、全ての市町村等で共通する内容であり、各市町村の目標値を県全体でとりまとめ、長野県全体として目指す目標値としました。

■ 共通する指標と目標値

	現状	短期					中期		長期
		H20 2008	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H32 2020	
利用者(住民)の立場から見た指標									
A: 快適生活率(%)	80.7	85.8	87.3	88.9	90.1	91.3	94.1	96.8	
B: 環境改善指数	17.3	40.8	43.5	48.4	54.1	62.0	76.4	94.8	
C: 情報公開実施指数	23.7	42.9	47.0	54.9	60.1	77.8	86.5	94.2	
事業者(市町村)の立場から見た指標									
D: 汚水処理人口普及率(%)	94.0	96.1	96.6	97.2	97.7	98.1	99.0	99.5	
E: バイオマス利活用指数	74.8	80.0	80.5	80.3	80.3	80.4	82.2	85.0	
F: 経費健全度(%)	-	4.0	8.0	13.0	17.0	21.0	44.0	100	

■ 共通する目標の見える化



【H20 年度】産学官による構想策定研究会



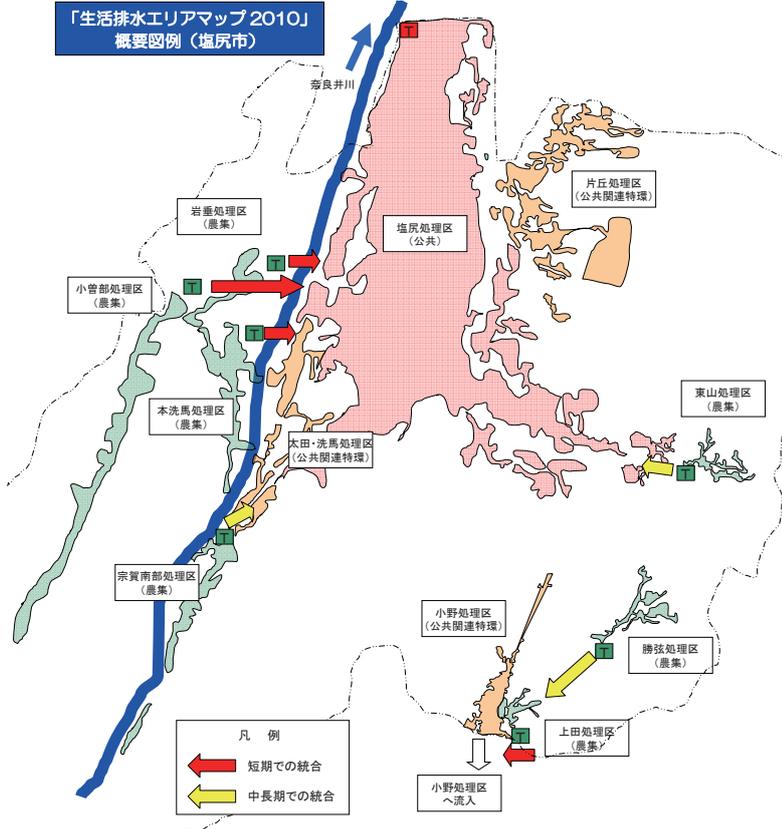
【H21 年度】市町村との構想作成相談会

■ 構想における具体的な3つのプラン

構想の具体的なプランとして3つのプランを策定しました。



「生活排水エリアマップ 2010」 概要図例（塩尻市）



長野県の生活排水施設の整備は、地理的な条件から多数の小規模施設が分散した生活排水システムという特徴を抱えているものの平成 21 年度末の汚水処理人口普及率は 94.5%に達し、「施設整備を推進する時代」から「持続的な管理経営の時代」を迎えています。

このような中、人口減少や市町村合併などの社会情勢の変化に加え、流入水量の減少や多くの処理施設を抱えていることによる経営問題、維持管理を行う技術者の不足、処理施設の老朽化による改築更新の財源確保や今後も発生量が増加する汚泥への対応など、新たな課題が発生してきています。

このため、県と全 77 市町村では、「未来へ拓こう水循環・資源循環のみち」を合い言葉に、互いに協力、連携し、地域の実状に応じた“わが村、わが町、わが市”における持続可能な生活排水対策を目指して、「施設整備・バイオマス利活用・管理経営」の観点から総合的なビジョンを策定しました。